

# 離型フィルムでお悩みですか？

剥離強度を  
コントロールしたい

剥離

加熱すると  
剥離強度が上がる

被着体によって  
強度がばらつく

シリコンを  
使いたくない

フッ素を  
使いたくない

その悩み **塗料** で解決します。

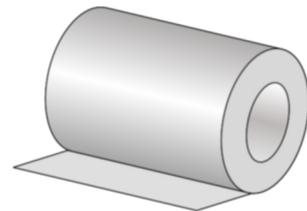
## 日本化工塗料が提案する 「剥離制御技術」



剥離強度を自由にコントロール  
重剥離・軽剥離のブレンドで剥離強度の調整が可能。  
重剥離と軽剥離の混合による剥離強度

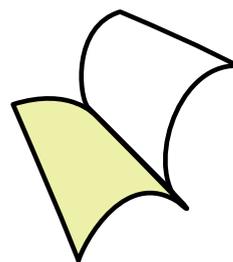
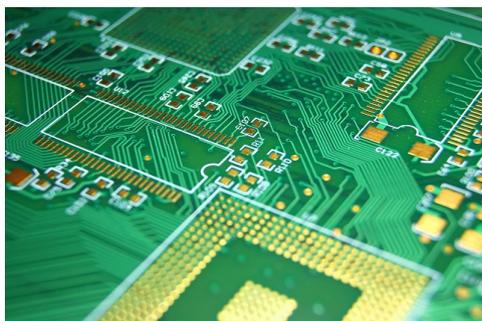


被着体に合わせた各種グレードあり。  
アクリル系・ゴム系・シリコン系など各種粘着剤や  
上塗り塗料に合わせたグレードあり。

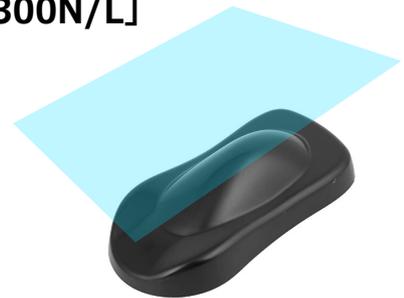


汎用離型フィルムには  
「FS-9300N/L」

電材用途に使用できます！  
※シリコンを使ってないので汚染性が低い。



粘着剤用途には  
「FS-9308N/L」



転写箔用途には  
「FS-9309N/L」

# 日本化工塗料が提案する剥離制御技術

## 被着体に合わせて3タイプを用意。

コーティング剤		TOMAX FS-9308L 粘着剤タイプ	TOMAX FS-9300L 標準タイプ	TOMAX FS-9309L 転写箔タイプ	
不揮発分 (%)		20			
粘度 (mPa・s)		10			
溶剤組成		トルエン、PM、酢酸ブチル			
水接触角 (°)		97	97	95	
残留接着率		90%以上	90%以上	90%以上	
剥離強度 (mN/25mm)	アクリル系粘着剤 日東電工 31B	常態	340	420	820
		70°C×20h	520	1090	1900
		150°C×1h	1500	3500	5300
	シリコン系粘着剤 日東電工 No.336	常態	3600	4700	5900
		70°C×20h	6200	7200	8100
		150°C×1h	7100	7900	8100
	ゴム系粘着剤 ニチバン LP-24	常態	3800	3600	4300
		70°C×20h	5000	5800	6500
		150°C×1h	—	—	—
	上塗りからの 離型性	熱硬化系	×	△	○
		UV硬化系	○	○	○

### <塗膜作製条件>

塗料配合 : FS-9300/FS硬化剤 = 100/4

基材 : 易接着PETフィルム【東洋紡製コスモシャイン A4160(100μm)】

膜厚 : 1μm・dry

塗装方法 : バーコーター

乾燥条件 : 150°C×30秒

剥離条件 : 各粘着剤を2kgローラーを用いて貼付、T型剥離 (剥離速度0.3m/min) で測定。

※上記の塗膜物性は、社内テスト結果の一部です。ご使用に際しては、貴社条件に適合するか、事前の確認をお願いします。

お問い合わせ 日本化工塗料株式会社 TEL:0467-74-6550 Email : tokyo@nippon-kako.co.jp